

スペインのサンティアゴ・デ・コンポステラ大学において、去る6月3日～5日、巡礼に関する国際会議が、「サンティアゴの道」(Caminos de Santiago)のテーマで開催された。筆者は3日真夜中(日本時間)、オンラインで英語講演をおこなった。講演テーマは「宗教伝統における巡礼の意義」(The Significance of Pilgrimage in Religious Traditions)。この国際会議は、昨年6月に同大学開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大のために延期されていた。

講演では、まず、ミルチャ・エリアーデやファン・デル・レーウなどの宗教学者による「巡礼」の意味理解などを紹介しながら、「巡礼」という宗教的行為の意味を考察した。そのうえで、世界の宗教伝統のなかでも、特に日本宗教とインド宗教の伝統に焦点を絞って、具体的な巡礼とその意味を分析的に論じた。まず、日本宗教の伝統については、巡礼と山岳信仰や神仏信仰との関わり、また聖地と巡礼の関わりという主要な論点に沿って、日本宗教における巡礼の意義を明らかにした。さらにインドの宗教伝統については、聖地がサンスクリット語で「ティールタ(浅瀬)」(tirtha)と呼ばれてきたことの意味に言及したうえで、「巡礼」(tirtha-yātrā)がヒンドゥー教信仰のなかで、いかに宗教的な意義を担ってきたのかについて、シャンカラ派伝統における具体的な信仰などを挙げながら論じた。

講演の最後には、世界の宗教伝統において、巡礼が巡礼者にとって、功德や浄化などの宗教的意味をもってきたことに言及したうえで、今後、巡礼とツーリズムやレジャーとの密接な関わりをめぐって、なおいっそう掘り下げた研究が不可欠であることを指摘した。

オーストラリア学会 2021 年度全国研究大会で発表

尾上 貴行

オーストラリア学会の2021年度全国研究大会が、6月12日と13日の両日にわたり、対面とオンラインの併用で開催された。尾上は、第2日目の午前中に行われた一般個別研究報告の第1分科会にて、演題「トランスナショナルリズムとインテグレーションの視点からみるオーストラリアにおける日本人天理教布教師の諸活動についての考察」(Thoughts on Activities by Japanese Tenrikyo Missionaries in Australia from the Perspectives of Transnationalism and Integration)で、報告者の一人として英語で発表した。

本報告では、移民の母国の宗教が、移住先のオーストラリア社会とどのようにかわり、展開しているかを考える一つの事例として天理教をとりあげた。天理教におけるヒト・モノ・カネ・情報などの日本とオーストラリアの間での越境的なつながりを明らかにした上で、オーストラリアで展開している天理教のさまざまな活動が、オーストラリア在住の日本人信者たちの現地社会への適応という点で、どのような影響を及ぼしているのかを考察した。

本発表では、熊本県阿蘇郡高森町に伝承されている芸能「^{にわか}俄」を事例として、その演技の特徴と伝承を生み出している稽古のプロセスについて検討した。本発表で扱った熊本県高森町の俄は、毎年夏に実施される風鎮祭という地域の祭礼において、地区の青年たちによって演じられる。高森町に俄が伝わった時期ははっきりしないが、少なくとも明治初頭には高森町で演じられていたようである。

俄の演技の特徴として、方言で演じられ、ローカルなネタや話題が題材になるなど、「高森」という地域に密着した芸能であることがあげられる。また、毎年必ず新作の演目が作られることも特徴である。さらには、稽古の場において台本が用いられないため、上演ごとに台詞の異なる演技を生むという点も指摘できる。

このように、高森の俄は一回的で即興的な演技の特徴をもつ芸能であるが、その演技を生み出す背景として稽古の場に注目した。高森では、演者である青年たちが毎晩行われる稽古に参加することによって、演技の技法がメンバー間に共有され、演技が作り上げられる。つまり、稽古で交わされる会話や様々なやり取りを通じて、演技が構築されていることが明らかになった。そして、演者のコミュニティで生成、継承される演技が、世代を超えて高森のなかで伝承されていると結論づけた。

『グローバル天理』
メール配信のご案内

当研究所では、『グローバル天理』を毎月発行し、関係各所やご希望の方々へ配布・配送しておりますが、ペーパーレスでのメール配信を開始しました。

つきましては、『グローバル天理』(PDF版)のメールでの受け取りを希望される場合、および紙版の『グローバル天理』の配布・配送を中止される場合は、下記の当研究所メールアドレスへご連絡ください。

なお、当誌はおやさと研究所のホームページでも公開しており、そちらでご覧いただくことも可能ですので、併せてご案内いたします。

皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

連絡先:

天理大学 おやさと研究所『グローバル天理』編集部

E-Mail: glocal@sta.tenri-u.ac.jp

URL: <http://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>